

福島県内各事務所における主要事業のポイント

強い東北の創造

(道路事業)

- 東北中央自動車道（福島米沢間のうち福島県側）17.1 Kmについては、今年度に引き続きトンネル、橋梁等工事の推進を図る予定です。（福島河川国道事務所）
- 一般国道4号あさか野バイパス（郡山バイパス）（須賀川市～本宮町）は、郡山市針生地区において立体化（針生高架橋（仮称））の4車線供用に向けて工事を推進する予定です。（郡山国道事務所）
- 一般国道6号久之浜バイパス（いわき市）については、四倉漁港前～県道白岩久之浜線間L=3.2 Kmの用地買収及び工事の進捗を図る予定です。（磐城国道事務所）
- 一般国道49号三和トンネル（いわき市）L=1.7 Kmについては、用地買収及び工事の進捗を図る予定です。（磐城国道事務所）
- 一般国道115号阿武隈東道路（相馬市）については、用地買収の推進を図るとともに、この状況を見ながら工事を進捗する予定です。（福島河川国道事務所）
- 一般国道121号会津縦貫北道路（喜多方市～会津若松市）については、塩川IC（仮称）～湯川IC（仮称）間L=3.2 kmの部分暫定（2車線）供用に向けて用地買収及び工事を推進する予定です。（郡山国道事務所）

(港湾事業)

- 相馬港において、静穏度向上による荷役障害の回避を図るために、防波堤の整備を推進します。（小名浜港湾事務所）

安全で安心できる地域づくり

(河川事業)

- 平成10年8月、平成14年7月洪水において、国道4号の一時通行止めや家屋浸水被害を受けた二本松・安達地区において、浸水被害を軽減させるため進めている土地利用一体型水防災事業を推進します。別紙-1
- また、梁川地区においても土地利用一体型水防災事業による輪中堤等の工事を推進します。（福島河川国道事務所）別紙-2

- 上流に崩壊地及び地すべり地形を有している須川^{すかわ}において、流出土砂に伴う洪水氾濫から福島市街地を保全するため、須川第2砂防えん堤の工事に着手します。
別紙－3

また、松川・荒川で進めている遊砂地整備を継続して実施します。
(福島河川国道事務所)

適正なダム管理

- ダム堤体の安全管理、放流設備の維持修繕、迅速な情報提供対応としてのIT防災基盤の整備促進、貯水池の管理および水質の監視等を実施し、阿武隈川、大滝根川沿川の洪水被害の軽減や、渇水被害の軽減に努めます。
また、環境への対応として水質保全施設の機能維持のため、前ダムに堆積した土砂の撤去や、ダム湖を訪れる人たちが安全に利用できるための護岸補修等を進めます。
(三春ダム管理所)
- 阿武隈川下流部及び摺上川沿川の洪水被害の軽減、渇水被害の軽減効果を適切に発揮するため、平成19年度は、ダム本体及び放流設備の維持管理、並びに貯水池の管理、水質の監視を行う他、ダム周辺環境のモニタリング等を実施します。
(摺上川ダム管理所)

(道路事業)

- 大規模地震発生時における緊急輸送路を確保するために、緊急的に補強が必要な橋梁について工事を完了すべく残り10橋の工事に着手します。
(福島河川国道事務所、郡山国道事務所、磐城国道事務所)
※橋梁耐震補強工事の実施に際しては「橋梁耐震補強3箇年プログラム」が策定されており、平成17年度から平成19年度まで86橋を実施することとしています。
- 一般国道4号弁天山^{べんてんやまこうさてん}交差点改良(福島市)は、左折レーン設置工事を実施し、完成供用を図る予定です。
(福島河川国道事務所) 別紙－4
- 一般国道4号北幹線東入口^{きたかんせんひがしいりぐちこうさてん}交差点改良(福島市)は、右折レーン延伸工事を実施し、完成供用を図る予定です。
(福島河川国道事務所) 別紙－5
- 「あんしん歩行エリア」の『相馬中央』^{そうまちゆうおう}地区では、一般国道6号沖の内交差点
^{そうまし}(相馬市)の横断歩道橋整備工事を実施する予定です。
(磐城国道事務所)
- 安全、安心して国道を通行して頂くために、国道4号、6号、13号、49号の適正な維持をはじめ、修繕、交通安全施設等整備の事業を継続して実施します。
(福島河川国道事務所、郡山国道事務所、磐城国道事務所)

○都市防災機能及び都市景観の向上、さらには安全で快適な歩行空間を確保するため、電線類の地中化を進めます。

- ・ 一般国道4号^{すけい}図景地区電線共同溝^{こおりやまし}（郡山市）は、平成19年度完成する予定です。（郡山国道事務所） **別紙-6**
- ・ 一般国道4号^{わたり}渡利地区電線共同溝^{ふくしまし}（福島市）は、平成20年度完成に向けて工事の推進を図る予定です。（福島河川国道事務所）
- ・ 一般国道6号^{たいらながはし}平長橋地区電線共同溝（いわき市）は、平成20年度完成に向けて工事の進捗を図る予定です（磐城国道事務所）

(港湾事業)

- 小名浜港において、静穏な海域を確保し、荒天時の海難事故を未然に防止するため、また、大規模地震の発生に伴う津波の被害を軽減するために防波堤を延伸します。（小名浜港湾事務所） **別紙-7**
- 相馬港において、大規模地震発生後の緊急物資受入港として、相馬港から港湾背後の被災地への迅速な復旧・支援を行うために耐震強化岸壁の整備を推進します。（小名浜港湾事務所） **別紙-8**

魅力ある都市づくり

(道路事業)

- 一般国道4号^{しらかわ}白河^{にしごうむら}拡幅^{しらかわし}（西郷村～白河市）については、引き続き用地買収及び工事を推進する予定です。（郡山国道事務所）
- 一般国道4号^{もとみやかくふく}本宮^{もとみやまち}拡幅^{おおたまむら}（本宮町～大玉村）は、大玉村内の工事を推進し、全線完成供用を図る予定です。（福島河川国道事務所） **別紙-9**
- 一般国道4号^{だてかくふく}伊達^{だてし}拡幅^{くにみちよう}（伊達市～国見町）は、桑折町において用地買収の進捗を図る予定です。（福島河川国道事務所）
- 一般国道6号^{じょうばん}常磐^{じょうばん}バイパス（いわき市）L=27.7 Kmについては、引き続き4車線化を推進する予定です。（磐城国道事務所）
- 一般国道6号^{そうま}相馬^{そうまし}バイパス^{しんちまち}（相馬市～新地町）L=9.9 Kmについては、主要地方道原町海老相馬線から一般国道113号までの5.2 Kmが供用済みで、残り4.7 Kmについて完成させ、全線供用（暫定2車線）を図る予定です。（磐城国道事務所） **別紙-10**
- 一般国道13号^{ふくしまにしどうろ}福島西^{ふくしまし}道路^{ふくしましおおもり}（福島市）は、福島市大森地内において工事の推進する予定です。（福島河川国道事務所）

- 一般国道49号平バイパス（いわき市）は、番匠地交差点～好間町中好間（約1.8 Km）について、内郷高架橋など4車線化工事を推進する予定です。このうち、内郷御台境町～好間町中好間（内郷高架橋以西）の約0.9 Kmについては、平成20年度の供用を目指して工事を推進する予定です。（**磐城国道事務所**）
- 一般国道6号高見町交差点改良（南相馬市）は、右折レーン延伸及び左折レーン設置工事を実施し、完成供用を図る予定です。（**磐城国道事務所**）*別紙-11*

美しい東北の実現

(道路事業)

- 一般国道289号甲子道路（下郷町～西郷村）については、平成20年度の完成供用を目指して管理施設の整備工事、舗装工事を推事を推進する予定です。（**郡山国道事務所**）

事業名	あぶくま にほんまつ あだち 阿武隈川上流二本松・安達地区土地利用一体型水防災事業(直轄) (福島県二本松市)
------------	--

事業着手:平成14年度

事業の必要性・事業の概要

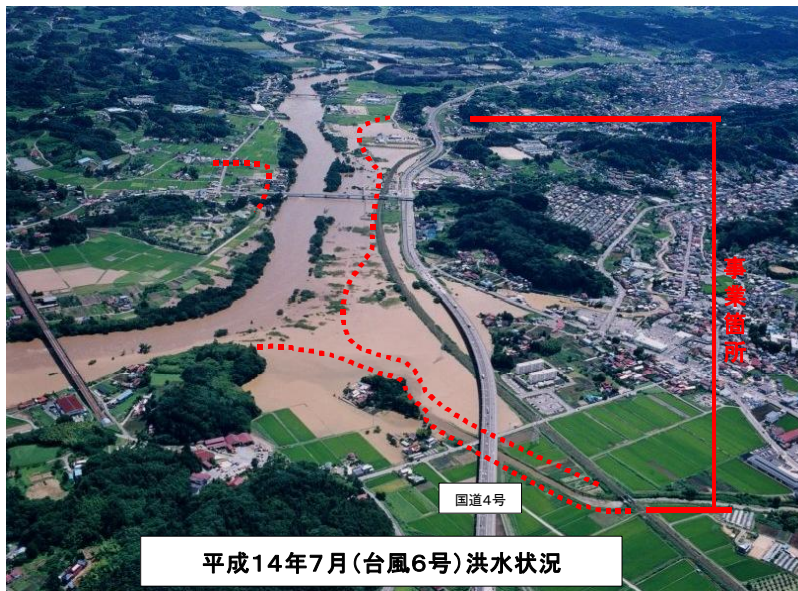
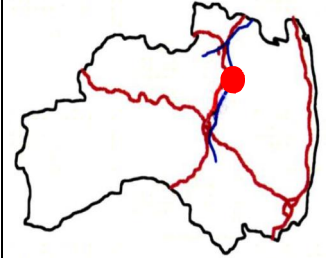
「事業の必要性」

当該箇所は、無堤地区となっており、平成10年8月及び平成14年7月洪水で国道4号線の一時通行止めや、家屋浸水などの多大な被害を受けており、早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

東北地方の河川の特徴を生かし、上下流のバランスを考慮した治水対策を進めるため、狭窄部の二本松・安達地区において、従来の改修(連続堤)ではなく、輪中堤による治水対策を実施します。

福島県



平成14年7月(台風6号)洪水状況



平成19年度の予定

○阿武隈川左岸油井地区の築堤を進捗させます。

事業効果

○二本松・安達地区における家屋浸水を解消し、浸水被害を軽減させます。

事業名	あぶくま やながわ 阿武隈川上流梁川地区土地利用一体型水防災事業(直轄) (福島県伊達市)
-----	---

事業着手:平成15年度	完成・供用の目標年度:平成22年度完成予定
-------------	-----------------------

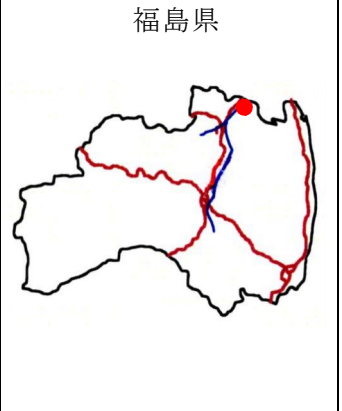
事業の必要性・事業の概要	福島県
--------------	-----

「事業の必要性」

福島県と宮城県の県境に位置する阿武隈川狭窄部では、昭和61年8月、平成10年8月、平成14年7月の洪水で浸水被害が生じさらに生活道路が冠水し一時孤立する状態にあることから、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

当該地区は狭窄部という地形的特性から、従来の改修(連続堤防)ではなく、地域の特性に応じ、輪中堤・宅地嵩上げ等による治水対策を実施し、早期に被害の軽減を図ります。



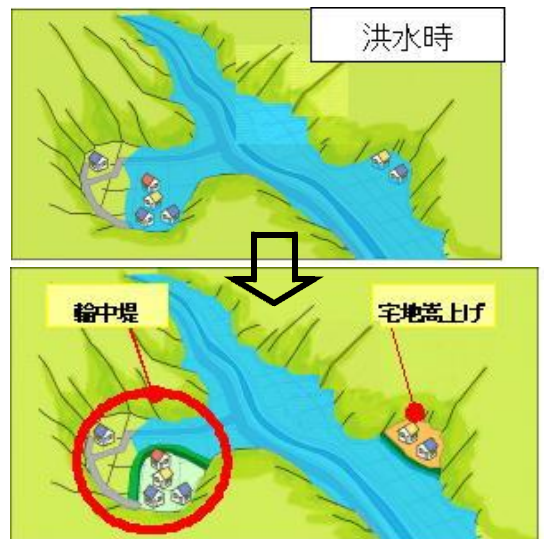
H14.7出水状況(桂野地区)



桂野地区の浸水状況(H14.7洪水)



対策イメージ



平成19年度の予定

- 阿武隈川右岸桂野地区における輪中堤整備を進捗させます。

事業効果

- 輪中堤、宅地嵩上げ等を実施整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。

事業名	あぶくま 阿武隈川水系直轄火山砂防事業 すかわ 須川第二砂防えん堤(直轄) ふくしま (福島県福島市)
------------	--

事業着手 :平成18年度	完成・供用の目標年度 :平成22年度完成予定
---------------------	-------------------------------

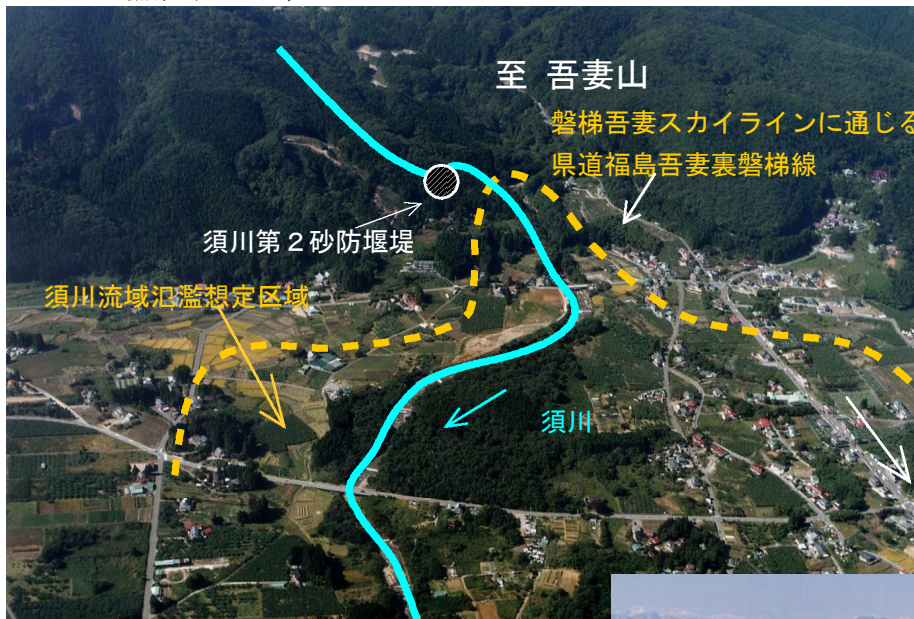
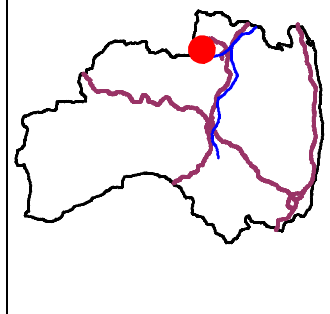
事業の必要性・事業の概要	福島県
---------------------	-----

「事業の必要性」

福島市を流れる須川の上流部は、崩壊地及び地すべり地形を有していることから、その流出土砂に伴う洪水氾濫から下流にある福島市街地の被害軽減を図る必要があります。

「事業の概要」

- 構造:重力式コンクリートスリット
- えん堤高・延長:H=14.5m L=86.0m
- 土砂整備効果量:45,000m³



須川下流市街地状況

平成19年度の予定	○えん堤本体の工事に着手します。
------------------	------------------

事業効果	○福島市街地における土砂災害の軽減を図ります。
-------------	-------------------------

事業名 弁天山交差点改良(直轄)
(福島県福島市渡利)

事業着手:平成16年度

完成・供用の目標年度:平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

弁天山交差点は、福島県福島市の市街地南部に位置し、一般国道4号と(県)岡部・渡利線、(市)岩下金仏線の交差点です。

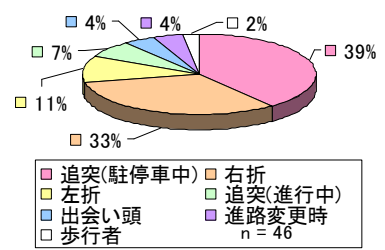
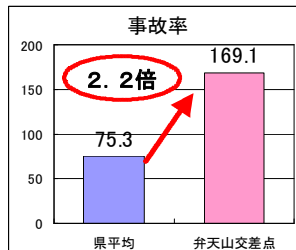
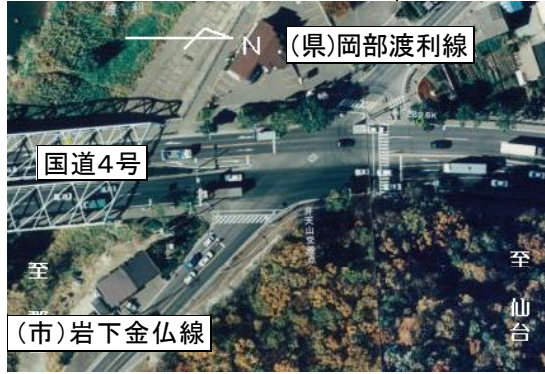
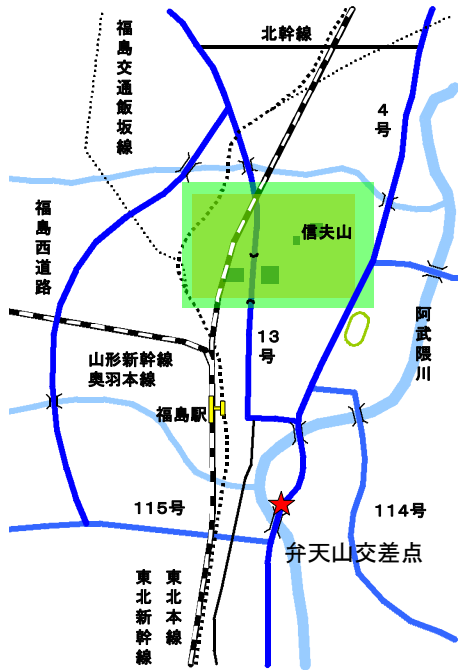
当該交差点は、追突や右折時の事故等により、死傷事故が福島県平均の2.2倍の確率で発生し、「事故危険箇所」となっています。

また、朝夕には渋滞が発生し、「新たな渋滞ポイント」にも指定されており、早急な対策が求められています。

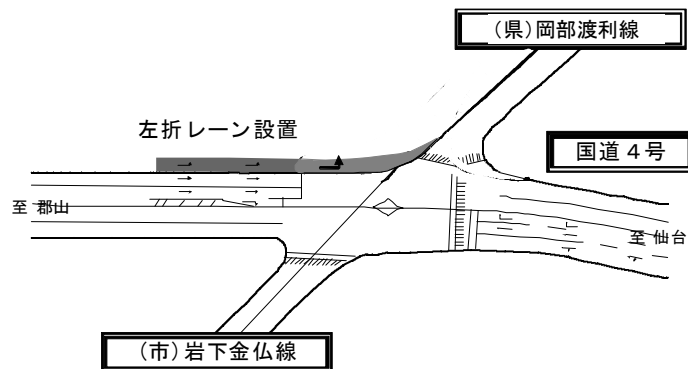
「事業の概要」

弁天山交差点改良事業では、下り車線に左折車線の設置等を行い、交差点の交通事故の削減及び交通円滑化を図ります。

福島県



▲ 弁天山交差点の事故状況



▲ 弁天山交差点改良計画図

平成19年度の予定

○交差点改良工事の完成を図る予定です。

事業効果

○交差点の安全性が向上し、交通事故が減少するとともに、交通渋滞の緩和が期待出来ます。

事業名 北幹線東入口交差点改良(直轄)
(福島県福島市鎌田)

事業着手:平成17年度

完成・供用の目標年度:平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

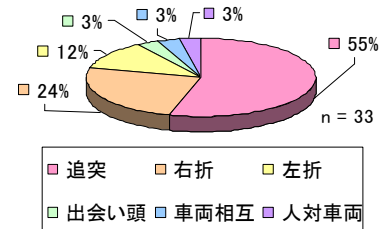
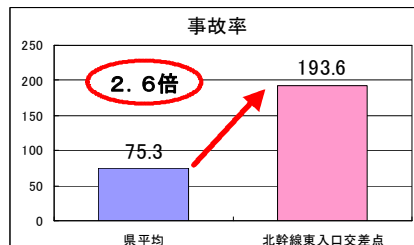
北幹線東入口交差点は、福島県福島市の市街地北部に位置し、一般国道4号と(県)飯坂保原線(北幹線)の交差点です。

当該交差点は、追突や右折時の事故等により、死傷事故が福島県平均の2.6倍の確率で発生しており、事故多発箇所となっています。

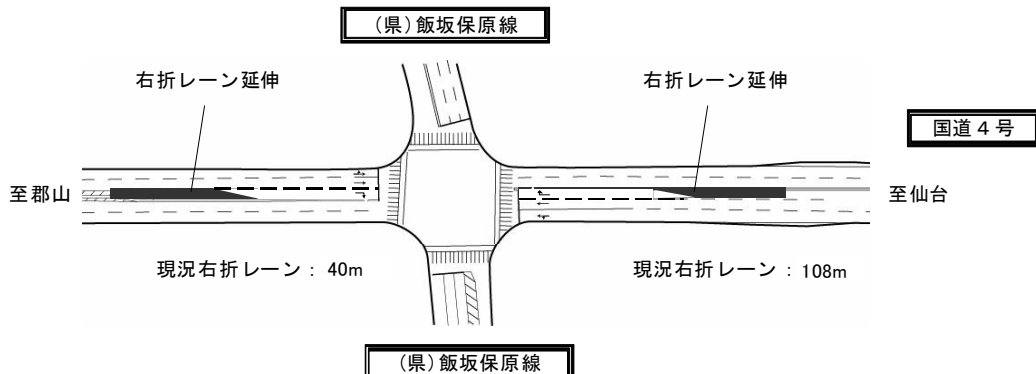
また、朝夕には国道上下線で県道へ右折する車両により渋滞が発生している状況で「新たな渋滞ポイント」にも指定されており、早急な対策が求められています。

「事業の概要」

北幹線東入口交差点改良事業では、右折車線の延伸等を行い、交差点の交通事故の削減及び交通円滑化を図ります。



▲北幹線東入口交差点の事故状況



▲北幹線東入口交差点改良計画図

平成19年度の予定

○交差点改良工事の完成を図る予定です。

事業効果

○交差点の安全性が向上し、交通事故が減少するとともに、交通渋滞の緩和が期待出来ます。

事業名	一般国道4号 <small>すけい</small> 凶景地区電線共同溝(直轄) <small>こおりやま</small> (福島県郡山市)
------------	---

事業着手:平成18年度	完成・供用の目標年度:平成19年度完成予定
--------------------	------------------------------

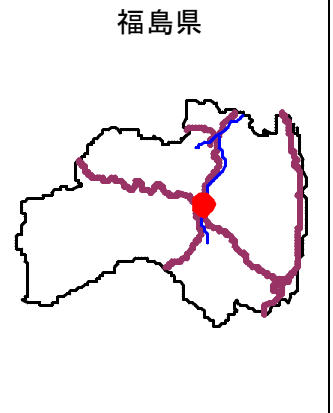
事業の必要性・事業の概要	福島県
---------------------	-----

「事業の必要性」

一般国道4号は、東京都を起点とし福島県郡山市内を経由して青森市に至る総延長約860kmの主要幹線道路です。

当該事業によって、電線・電柱類が地下に収められるため、都市景観が向上し、また、災害時におけるライフラインの確保ができます。

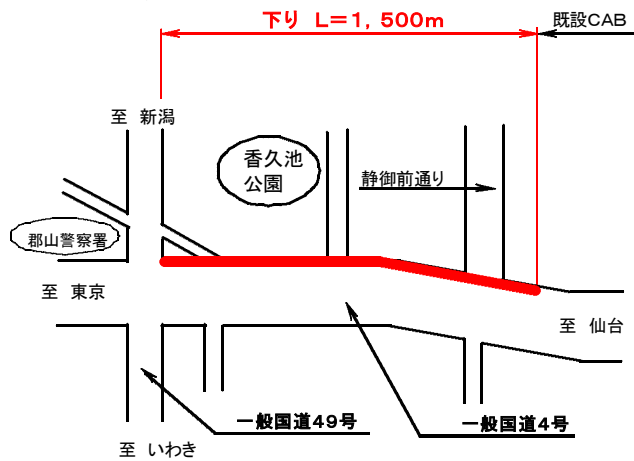
さらに、当該箇所近隣には郡山市の避難場所に指定されている「香久池公園」が存在し、大規模災害時に必要な飲料水の貯水槽が設置されているため、避難場所への安全な通路の確保も重要な地区となっています。



「事業の概要」

凶景地区電線共同溝は、安全で快適な通行空間の確保や災害時のライフラインの確保をはかることを目的とした延長1,500mの電線共同溝事業です。

▼位置図



▼現況写真



平成19年度の予定

○本体工事を実施し、事業の完成を図る予定です。

事業効果

- 都市景観の向上
- 安全で快適な通行空間の確保
- 情報通信ネットワークの信頼性確保
- 災害時等の安定したライフラインの実現

安全で安心できる地域づくり

あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	おなほま ほんこう ひがしこう 小名浜港本港地区及び東港地区防波堤整備事業（直轄） （福島県いわき市）		
事業着手：昭和62年度（本港地区） 平成6年度（東港地区）	完成・供用の目標年度：平成30年度完成予定		
事業の必要性・事業の概要	福島県 		
<p>「事業の必要性」</p> <p>小名浜港は、本州東岸の関東以西地域と東北・北海道地域との内航船舶の主航路筋に位置し、台風等の荒天時には沖合を航行する船舶が避難する港湾となっています。しかし、沖合を航行する船舶隻数に対して必要な避泊水域が不足していることや、近年の船舶大型化の傾向から、港内水域だけでは手狭となっており、海難事故を未然に防止するため、十分な避泊水域を確保することが求められています。</p> <p>小名浜港本港地区防波堤（沖）や東港地区防波堤（第二沖）などの外郭施設は、東港地区に避泊水域を確保する効果や大規模地震の発生に伴う津波の被害を軽減させる効果があることから、早期の整備が求められています。</p>			
<p>「事業の概要」</p> <p>本事業は、避泊水域の確保及び津波被害の軽減のため、防波堤（沖）2,540m並びに防波堤（第二沖）860mを整備するものです。</p>			
 <p>本港地区防波堤（沖）</p> <p>東港地区防波堤（第二沖）</p>			
<p>港内に避泊する避難船舶H17.7.27</p>			
<p>平成19年度の予定</p>			
<p>○平成19年度は、防波堤（沖）の基礎マウンドを造成します。また、防波堤（第二沖）のケーソン据付を実施し事業の進捗を図ります。</p>			
<p>事業効果</p>			
<p>○荒天時の際、小名浜港に避難できる船舶数が増加し、海難の減少と海上輸送の信頼性の向上が図れます。また、津波による被害が軽減されます。</p>			

安全で安心できる地域づくり

あらゆる災害に強い安全な地域づくり

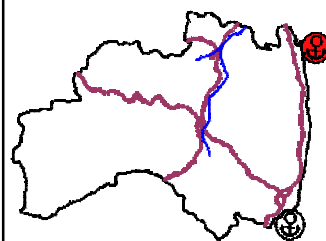
事業名	相馬港3号ふ頭地区岸壁整備事業(耐震強化)(直轄) (福島県相馬市)
------------	---------------------------------------

事業着手 :平成8年度	完成・供用の目標年度 :平成23年度完成予定
--------------------	-------------------------------

事業の必要性・事業の概要	福島県
---------------------	-----

「事業の必要性」

相馬港に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、今後10年以内に約50%、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、大規模震災時に背後の防災ネットワークと一体となった被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。



「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急支援物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、3号ふ頭地区に耐震強化岸壁(延長240m、水深12m)を整備するものです。



▲地震によって陥没した野積場
(相馬港 昭和53年 宮城県沖地震)

平成19年度の予定

○平成19年度は、岸壁本体据付を実施し、事業の進捗を図ります。

事業効果

○耐震強化岸壁の整備により、震災直後には相馬港から港湾背後の被災地へ緊急支援物資(医療品、食料、住宅建材等)の運搬が可能となります。

事業名 一般国道4号本宮拡幅(直轄)
(福島県安達郡本宮町~大玉村)

事業着手:昭和53年度

完成・供用の目標年度:平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

福島市と郡山市間を結ぶ国道4号で唯一の2車区間で、交通のボトルネックとなっており、混雑度が1.72と高く、渋滞損失時間が高くなっています。

4車線から2車線に絞られる本宮合流部や杉田合流部では、渋滞が発生しており、早急な対策が求められています。

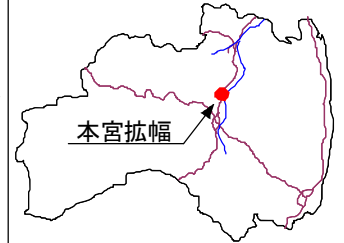
また、この区間の交通事故は増加傾向を示しており、早急な対策が求められています。

「事業の概要」

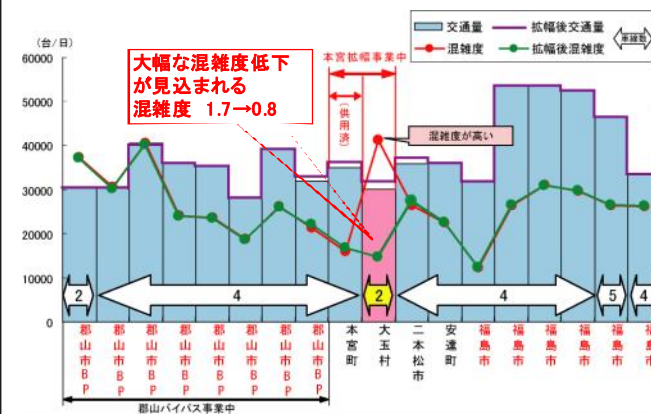
本宮拡幅は、一般国道4号福島県安達郡本宮町内、大玉村内の渋滞解消、及び交通安全の確保、物流効率化、地域間交流の促進を目的とした延長8.9Kmの4車線拡幅事業です。

平成16年度までに本宮町内の6.0Kmについて完成供用を図っており、残る大玉村内の2.9Kmについて事業を行っています。

福島県



▲国道4号郡山市福島市間の交通量・混雑状況



▲大玉村大山中江付近の渋滞状況

平成19年度の予定

○大玉村内の道路改良及び舗装工事を実施し、事業の完成を図る予定です。

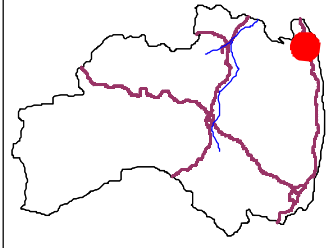
事業効果

- 渋滞損失時間の減少(本宮拡幅事業区間全体:H19供用時点)
281万人・時間/年 → 154万人・時間/年 127万人時間/年(45%削減)
- 交通事故の削減(事業中区間)
27件/年 → 17件/年 10件/年(37%削減)

事業名	一般国道6号 ^{そうま} 相馬バイパス（直轄） （福島県相馬市～相馬郡新地町）
-----	---

事業着手：昭和62年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定
-------------	---------------------------

事業の必要性・事業の概要	福島県
--------------	-----



「事業の必要性」

一般国道6号の相馬市街地部は、福島県相双地方生活圏で最も交通混雑が発生しているほか、沿道騒音が要請限度を超過しており、早急な対策が求められています。さらに常磐自動車道(仮)相馬ICから重要港湾相馬港及び相馬中核工業団地へのアクセス性向上が求められています。

「事業の概要」

相馬バイパスは、主要渋滞ポイントの塚ノ町交差点周辺等の渋滞緩和や交差点事故の減少、沿道騒音等の改善を図るとともに、物流及び観光の拠点の連携強化を目的とした延長9.9kmのバイパス事業です。昨年度末までに、主要地方道原町海老相馬線から一般国道113号までの5.2kmが供用済みで、残り4.7kmについて事業を行っています。



▲位置図



▲塚ノ町交差点の渋滞状況

相馬バイパス全線供用の効果

相馬市街地の通過時間が短縮されます

所要時間 (分)	現況 (現道利用)	バイパス整備時 (バイパス利用)
約17分	約17分	約10分

約7分短縮

相馬市日下石～新地町小川間の所要時間

※現況はH18.3プローブデータ



▲駒ヶ嶺高架橋から現6号方向を望む

平成19年度の予定

○現国道6号～主要地方道原町海老相馬線及び国道113号から現国道6号について橋梁工事及び付属施設、舗装工事を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事業効果

- 相馬市街地の渋滞緩和や、より安全で信頼性の高い交通網の確保が図られます。
- 相馬市街地の通過時間が短縮されます。(17分→10分 約7分短縮)

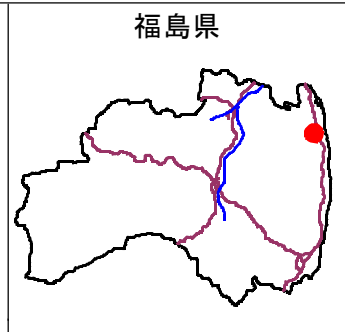
事業名	一般国道6号 <small>たかみちよう</small> 高見町交差点 (直轄) <small>みなみそうま</small> (福島県南相馬市)
-----	---

事業着手:平成16年度	完成・供用の目標年度:平成19年度供用予定
-------------	-----------------------

事業の必要性・事業の概要	福島県
--------------	-----

「事業の必要性」

一般国道6号の高見町交差点は、福島県南相馬市中心市街地に位置し、交通需要が高まっていることから平成15年度には新たな渋滞ポイント(最大渋滞長800m,通過時間新6分)として位置付けられており、早急な対策が求められています。さらには、右左折車両が多く速度低下による追突事故が多発しており、安全性の向上が求められています。



「事業の概要」

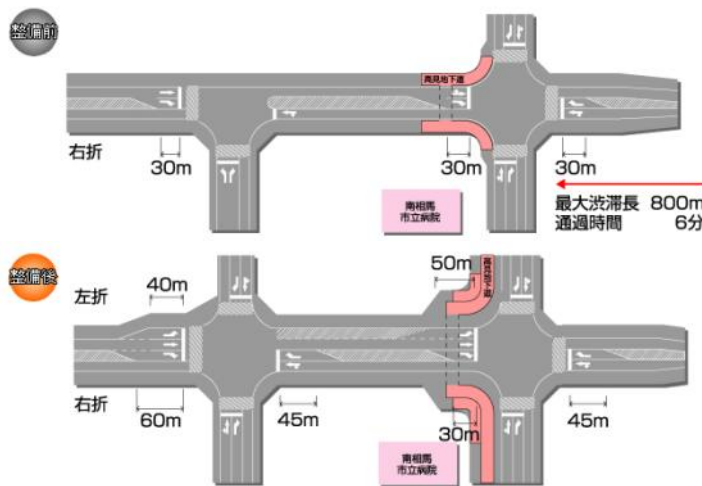
現在設置されている右折レーンの延伸と左折レーンを新たに設置し、渋滞緩和や交通事故の減少を図ります。



▲位置図



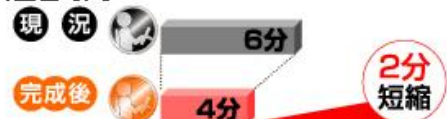
▲仙台方向から東京方向を望む



《渋滞長》



《通過時間》



▲供用後の事業効果

平成19年度の予定

○交差点改良工事を実施し、供用を図る予定です。

事業効果

- 南相馬市街地の通過時間が短縮されます。(6分→4分 約2分短縮)
- 南相馬市街地の渋滞緩和や交通事故の減少により、安全で信頼性の高い交通網の確保が図られます。

福島県管内図

